

■学校教育学研究科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【1】求める学生像

学校教育学研究科は、学力問題への対応、多様な教育ニーズへの対応及び新たな学校づくりという地域の教育課題に対して中心的な役割を担う教員養成を使命としています。そのため、学部卒業生等（すでに教員免許を有している人を含む）は、学校課題を明確に把握しながら即戦力として活躍できる力を培うとともに、将来的に地域の学校改革の担い手となりうる高度専門職業人としての教員を養成します。また、現職教員については、地域の教育課題に応じた学校改革を担うリーダーを養成します。本研究科が求める学生像は以下の通りです。

（学部卒業生等）

- ① 教育一般に関する基礎的な知識、理解力及び問題意識等を有する者
- ② 学校教育現場が直面している諸問題に対して深い関心と明確な課題意識を有する者
- ③ 諸課題に対して、実践的な専門性を培い、高度な実践的解決力の修得を目指す者
- ④ 将来、地域の学校改革を担うリーダーとして必要な専門的知識や技術等の修得を目指す者

（現職教員等）

- ① 教育一般に関する基礎的な知識、理解力及び問題意識等を有する者
- ② 学校教育現場が直面している諸問題に対して深い関心と明確な課題意識を有する者
- ③ 諸課題に対して、実践的な専門性を培い、高度な実践的解決力の修得を目指す者
- ④ 即戦力として地域の学校改革を担うリーダーに必要な専門的知識や技術等の修得を目指す者
- ⑤ 学校現場での指導経験と現場が抱える具体的な問題意識を有している者

【2】入学選抜の基本方針

学校教育学研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多面的な評価方法により入学受入れを行います。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、教員免許を取得し、大学院受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力を有しているかを、筆記試験及び口述試験によって評価します。また、本研究科での学習及び実践を遂行するために必要な資質や専門的知識を有しているかを、筆記試験、口述試験及び書類審査によって評価します。さらに、明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査及び口述試験によって評価します。

現職教員等入試

大学院受験資格を有し、かつ現に学校又は教育関係諸機関で専任として在職している者を対象とした現職教員等の入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力を有しているかを、筆記試験及び口述試験によって評価します。また、本研究科での学習及び実践を遂行するために必要な資質や専門的知識を有しているかを、筆記試験、口述試験及び書類審査によって評価します。さらに、現職教員としての明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査及び口述試験によって評価します。

学校教育学研究科で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力	筆記試験によって、本研究科で学ぶために必要な基礎学力を評価します。	一般入試 現職教員等入試	教育実践探究専攻
		口述試験によって、本研究科で学ぶために必要な基礎学力を評価します。		
		成績証明書によって、本研究科で学ぶために必要な基礎学力を評価します。		
専門分野における学習能力や研究遂行能力	筆記試験によって、本研究科で学ぶために必要な専門分野における学習能力や研究遂行能力を評価します。			
	口述試験によって、本研究科で学ぶために必要な専門分野における学習能力や研究遂行能力を評価します。			
	教育実践研究業績書・活動報告書及び実践研究計画書によって、本研究科で学ぶために必要な専門分野における学習能力や研究遂行能力を評価します。			
興味・関心・意欲・態度	志望専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	志望理由書及び口述試験によって、志望専攻で学ぶ動機、意欲、経験等を評価します。		